

# 憲法を壊してはいけない

## 憲法9条、明日をつむぐ 憲法公布68周年 県民のつどい

小松 茂弘

11月1日、RKCホールにおいて、こうち九条の会、女性「九条の会」高知の共催で「憲法公布68周年 県民のつどい」が開かれ、憲法学者・青井未帆学習院大学院教授が「憲法を壊してはいけない」と題して記念講演が行われました。

高退協からも十数名が参加し、会員でこうち九条の会代表の1人である田所金久さんが「嘆きを怒りに」運動をさらにすすめようとかつての臨教運動を引き合いに閉会あいさつを行いました。

青井さんの講演概要（高知憲法速報より）

◆安倍内閣が閣議決定を急いだ理由が「日米防衛協力指針の見直し」にあった。10月8日に中間報告が出されたが、日米双方の思惑が示され、アジア太平洋地域を超えた地域のために自衛隊が活動することを想定している。閣議決定で「脅威が世界のどの地域において発生しても我が国の安

### 憲法公布68周年県民のつどい



全保障に直接的な影響を及ぼし得る状況」として、無限定の論理へ傾斜したことに対応した。憲法9条の下で許される自衛の措置の解釈変更は二つの意味で政治の従うべき「矩」を超えた。一つは内閣に付与された所掌事務を超えていること。二つは内閣の判断で安易に憲法解釈を変えることが可能とするなら、原則を破ってよいとすることであり、法治国家にとっての基本が侵されることになる。

◆自衛隊は憲法9条の下で、文民統制を原則とし、防衛参事官制度に象徴される内局優位の仕組みであった。5年前に防衛参事官制度は廃止され、自衛隊の運用を統合幕僚監部へ一本化して、制服による大臣の補佐へと転換されてきた。大臣や国会が自衛隊を統制できているのか、国民に知らされていないことも多い。

◆昨年成立した日本版MSSO（国家安全保障会議）は、四大臣会合、九大臣会合、緊急大臣会合の3種類だが、九大

臣会合は、総理、副総理、官房長官、総務大臣、外務大臣、財務大臣、経産大臣、

国交大臣、防衛大臣、国家公安委員長がメンバーで、警察と自衛隊が切れ目なく連携することになっている。特定秘密保護

法は衆参合わせても約88時間の審議、乱暴で尋常でない立法過程であった。他国との情報共有のために作られており、「官僚の、官僚のための法律」だ。

◆「空気」が問題にされ、不寛容の言説、威勢の良い議論が充満しつつある。人は

身体性を持ち、身体と精神が傷つきやすいが、国家は身体を流さない。国を守るため、抑止力、安全安心、脅威などの言葉に踊らされない賢明さが求められる。

## 2014年度 高退協 望年会プラス芸能大会 お昼の宴会も楽しむね!

田中 正



ヴァイオリンを奏でる島本さん

息ついたところで井上（徳）さんから「近況報告や来年度の抱負、自己紹介をしたら」の提案があり、「一分以内くらいで」ということでマイクを回しました。健康のこと、趣味のこと、いま歌まわっていること、現在の社会状況のことなど次々と発表があり、皆さんの近況や思いを興味深くお聞きしました。

続いて恒例の芸能大会に突入。例年恒例のトップバッターの井上（徳）さんの「シバテン踊り」からスタートしました。軽妙な踊りにみんな爆笑。まだまだお元気な井上さんでした。川村（か）さんのしつとりとしたケーナ演奏や島本さんのお上手なバイオリン演奏、岡崎（清）さんの力強い詩吟、加藤（敏）さんの楽しい替え歌「ボケない音頭」と体の動きも軽やかな「どじょうすくい」などが披露されました。若手（？）では、畑山さんと別役さんが、平和の尊さを訴えた、パネルシアター「サトウキビ畑の歌」を演奏しました。

とあります。

さて今年度は、昼間の会で、参加者からは「昼間の宴会もいいたいものだ」「夜にはなかなか出れないのでよかった」「気軽に参加できた」「移動に安心だ」といった声もありましたが、「夜のほうがいいよ」「じっくり飲みたい」「昼間は用事がある」などの意見もあるかもしれませんので、また来年度の総会で意見を聞かせてください。

毎年恒例の望年会と芸能大会が、師走の二日（火）に高知城ホール4Fで三五人が参加して、盛大に開催されました。一二時から始める宴会は、今年度の総会で「昼間の宴会が参加しやすい」という意見があったため、倉橋会長の挨拶や国松顧問の乾杯の音頭もそこそこに、さっそく昼食弁当としやも鍋をつつき、もちろんアルコールも入りテールブルゴとに歓談しました。一